

【第15期 事業報告】 kimtec

キムテック株式会社

自 令和 6年 5月 1日
至 令和 7年 4月 30日

当期の日本経済はコロナ収束後の回復基調にはあるものの、米国関税問題、米中摩擦、ウクライナ紛争、イスラエル～イラン紛争と難しい国際情勢があります。

失われた30年の打開が課題となっておりますが、今後も不確実で難しい局面が続くと思われま

す。こうした中で測定機用対物レンズや医療用非球面レンズの新規開拓を行いました。さらに新型ルーペや新型照明の開発を進めており技術顧問は堅調に推移しました。不動産は店舗物件のリフォーム実施、加えて4月にマンションを一室増やしました。全体としてこまかい動きはあるものの安定推移致しました。以上の結果、売上高は 448万円（前年比16%減）となりました。

【対処すべき課題】

技術顧問や医療用カメラ事業は技術進化や市場変化への迅速対応が必要です。激動の中国、アジア、インド、米州、欧州、ロシアの国際情勢への対処も必要です。

①新規開発 ②新規調達先 ③自社商品 ④不動産事業 に取り組んで参ります。

